

研究課題名	好酸球性消化管疾患の病態、治療効果についての横断研究
研究の意義・目的	好酸球性消化管疾患は頻度の低い病気ですが、難治性であり困っている患者さんが数多くいます。頻度が少ないため病態に関して不明な点が多く、この研究は好酸球性消化管疾患の病気の原因や治療効果を明らかにすることを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2008 年 1 月~2024 年 6 月 9 日に大阪市立大学医学部附属病院、大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科ならびに MedCity21 で、①好酸球性消化管疾患と診断された方、②上部消化管内視鏡検査の生検組織で好酸球性消化管疾患が否定された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【内視鏡検査時に生検させて頂いた消化管組織（食道・胃・十二指腸・空腸・回腸・盲腸・結腸・直腸）】 診療情報等： ・患者基本情報：年齢、性別、飲酒歴、喫煙歴、臨床症状、病歴、併存疾患、常用薬を含む治療歴 ・身体所見：身長、体重 ・血液検査：白血球数、好中球数、好酸球数、好塩基球数、T-IgE、View allergy39; 抗原特異的血清 IgE ・上部、下部、小腸内視鏡所見
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。 【研究責任者】 <u>沢田 明也</u>
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科 担当者氏名： <u>沢田 明也</u> 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス： <a href="mailto:a.sawada@omu.ac.jp">a.sawada@omu.ac.jp</a>